

漫画家生活 30 周年

# この史代展

鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、  
走ってこけて、長い道のり

2026年

1/4 日 ▶ 3/8 日

開館時間：10:00 - 20:00 (入場は19:30まで) 火曜休館

会場：熊本市現代美術館ギャラリー I・II

観覧料：一般 1,300円 [1,100円] / シニア (65歳以上) 1,000円 [800円]、  
学生 800円 [600円]、中学生以下無料

※各種障害者手帳をご提示の方と付き添いの方1名無料 (身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳等)

※[ ]内は前売り / 20名以上の団体 / 電車・バス1日乗車券等を提示の料金

※うえるかむパスポートをご提示の方は無料

《描く人》◎この史代

主催：熊本市現代美術館 (熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団)、熊本日日新聞社、KKTくまもと県民テレビ  
後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、  
熊本国際観光コンベンション協会、J:COM 熊本、エフエム熊本、FM791  
協力：呉市立美術館、コアミックス、朝日新聞出版、日本文芸社、平凡社 企画：青幻舎プロモーション 監修：福永信

熊本市現代美術館  
Contemporary Art Museum, Kumamoto



# 漫画原画500枚以上！

カラーイラスト、  
挿絵原画、絵本原画、  
資料等も多数展示！

《夕風の街 桜の国》カバリーイラスト（部分）、2004年  
© この史代／コアミックス

## 『夕風の街 桜の国』（手塚治虫文化賞新生賞、文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞） 『この世界の片隅に』（文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞）で知られる、 この史代の全貌に迫る初の大規模原画展ついに開催！

《かっぱのねこ》2018年  
© この史代／朝日新聞出版



この史代（一九六八年）は、漫画というフィールドで実に多彩な表現活動をしてきました。お花屋さんや舞台のコミカルなショートストーリー連載「街角花だより」（一九九五）でデビューし、インコとの日常を描く4コマ漫画「ぴつぽら帳」（一九九七～二〇〇四）で人気を博します。ニワトリと少女のユニークな日々を綴った「こっちゃん」（一九九九～二〇〇二）も忘れられることはできません。命あるものと共にある日常を見つめた、これら初期作品の世界観があって、『夕風の街 桜の国』（二〇〇三～二〇〇四）『この世界の片隅に』（二〇〇六～二〇〇九）へつながっていくことになります。

もちろん、それは到達点ではありません。この史代はさらに先へ進みます。漫画という表現に、誰よりも強い好奇心を持っているからです。

非凡なアイデア満載の『平凡倶楽部』（二〇〇六～二〇一〇）で読者を驚かせたかと思えば、「ぼおるペン古事記」（二〇一二～二〇二二）ではボールペンだけで「古事記」を忠実に漫画化しました。東日本大震災の翌年から連載を開始した『日の鳥』（二〇一二）は、妻を探す雄鶏の目を借りて、移りゆく時の流れをスケッチしています。

漫画を素材にした画期的な漫画図鑑『ギガタワン 漫画図譜』（二〇一五～二〇一七）『百人一首と遊んだ華麗なカラーコマ漫画』『百一 hyakuchin』（二〇一八～二〇二〇）『般若心経』を『ロナ禍と重ね、2色の線が絡み合う最新長編』『空色心経』（二〇二一～二〇二五）など、新しい漫画の可能性へ向けて、挑戦は続きます。

この史代の特徴として、アシスタントを使っていないことが挙げられます。そのため、どの線にも彼女の気持がこもっています。たった一人で描いた「一枚の絵」として原画を見るときで、これまで気づけなかった線の魅力、色の力を感じていただけることでしょう。

本展では、10代の時の作品から最新作まで、500枚以上の漫画原画を展示します。そのほかデビュー以前の貴重な資料の数々、膨大な挿絵原画、絵本原画、ブログ「このののの」に登場するスケッチブック、執筆風景を記録した初公開の映像など、圧巻の展示数でこの史代の歩いてきた道のりをたどります。

なお二〇二五年九月から連載が始まったばかりの「かぐやさん」の原画やコンテなども、この熊本会場から展示を開始いたします。楽しみに待っていてください！

### この史代

1968年広島市生まれ。広島大学中退、放送大学卒。1995年に漫画家デビュー。『長い道』『さんざん録』『空色心経』など作品多数。『夕風の街 桜の国』で多くの読者に感動をもたらす。アニメーション映画『この世界の片隅に』（監督片淵須直）が大ヒットを記録。最新刊に『ヒジヤマさん 星の音 森のうた この史代短編集』。ブログ「このののの」では日々の写真やスケッチを公開している。



《この世界の片隅に》2007年 © この史代／コアミックス



WEEKLY漫画アクション新人賞募集イラスト、1992年 © この史代

### 関連企画

#### 月曜ロードショー この史代セレクション

熊本市現代美術館の月曜ロードショーにて、この史代が選んだ作品を上映します。

日 程：2026年1月5日、12日、19日、2月2日、9日、16日、23日、3月2日、9日

時 間：各日 ①14:00— ②17:00—  
※終了時間は上映作品によって異なります

会 場：アートロフト

定 員：90名（当日先着順） 参加無料

※上映作品は美術館のホームページでお知らせします

#### G3-Vol.163 CAMK コレクション この史代セレクション

熊本市現代美術館の収蔵作品の中から、この史代が気になる作品を集めた展示です。

会 期：2026年1月15日（木）—3月15日（日）  
（美術館の開館日時に準じます）

会 場：熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ

観覧無料

### 関連イベント

#### この史代がおはなしするよ！ オープニング記念トーク

この史代が漫画のこと、日々の暮らしのことをお話します。

出 演：この史代（漫画家）、  
福永信（本展監修者／小説家）

日 程：2026年1月4日（日）

時 間：13:00—14:00

会 場：ホームギャラリー

定 員：80名（当日先着順）

参加無料

#### この史代が ライブペインティングをするよ！

展示会場内で絵を描いています。13時頃から描いている予定です。少し早かったり逆に遅く描き始めたりするかも。休憩もするのでもないときもあります。

日 程：2026年1月5日（月）

時 間：13:00頃—17:00頃（予定）

#### この史代の 一日マンガ寺屋！

この史代を講師として迎え、熊本の民謡「おもてやん」の漫画を描く1日講座です。漫画を描いている人、かつて漫画を描いていた人、漫画を描いてみたい人、大歓迎です。

日 程：2026年2月14日（土）

時 間：10:30—18:30

会 場：キッズファクトリー

定 員：15名

（要予約／定員を超えた場合は抽選）

対象年齢：中学生以上

参 加 費：1人1000円（材料費等）

#### この史代と 壁にラクガキをしよう！

展示会場の壁に、この史代と一緒にラクガキをしちゃうワークショップです。会期中はラクガキも展示の一部になります。

日 程：2026年2月15日（日）

時 間：10:30—12:00

集合場所：展示会場入口

定 員：20名

（要予約／定員を超えた場合は抽選）

対象年齢：小学生以上

（小学生は保護者の同伴が必要です）

参 加 費：1人500円

（現状復帰代として）

その他のイベントや  
最新情報はこちらから



《こっちゃん》2005年  
© この史代／エプリスタ

熊本市現代美術館  
Contemporary Art Museum, Kumamoto

熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3F  
Tel. 096-278-7500 Fax. 096-359-7892  
www.camk.jp